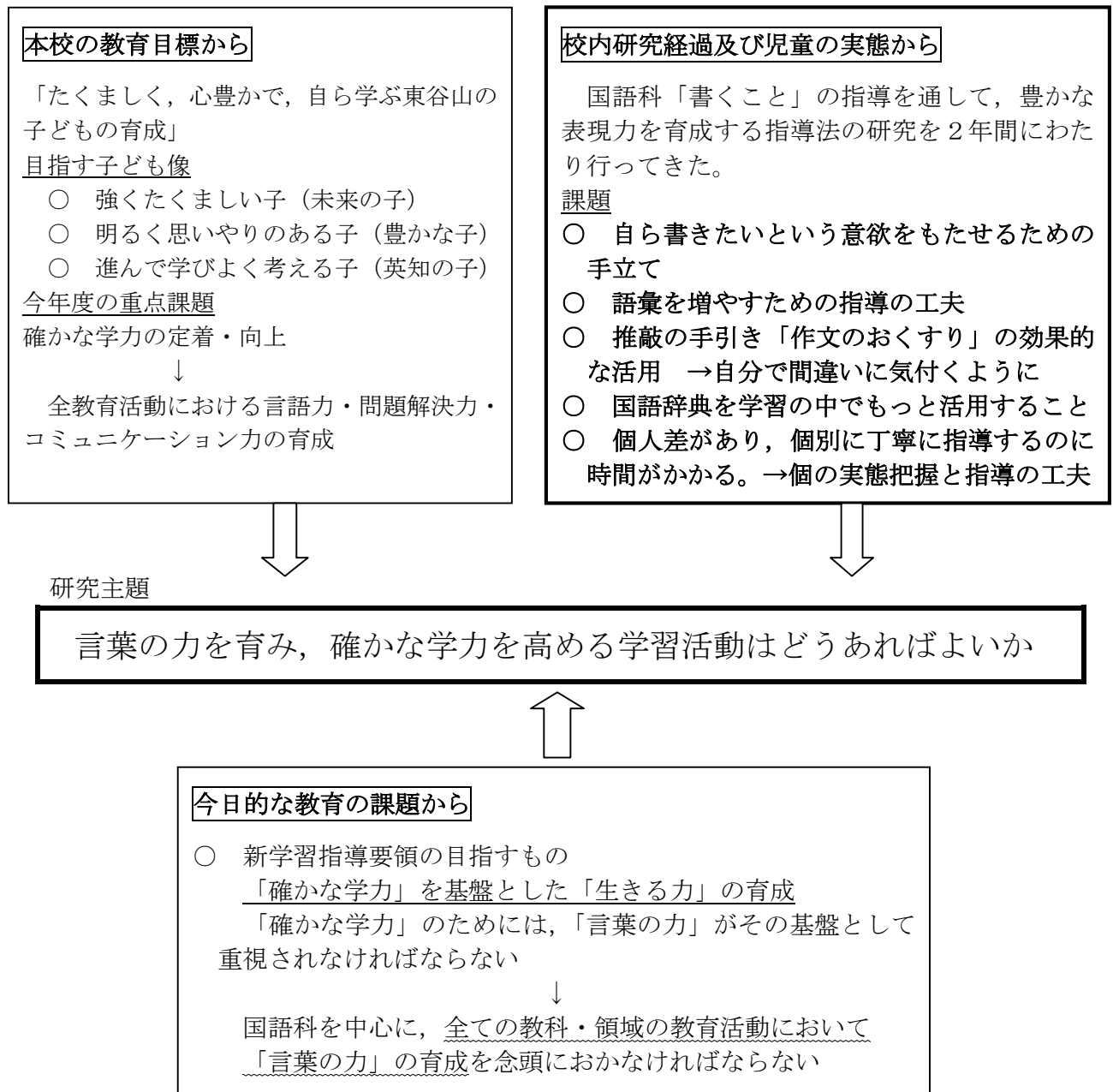
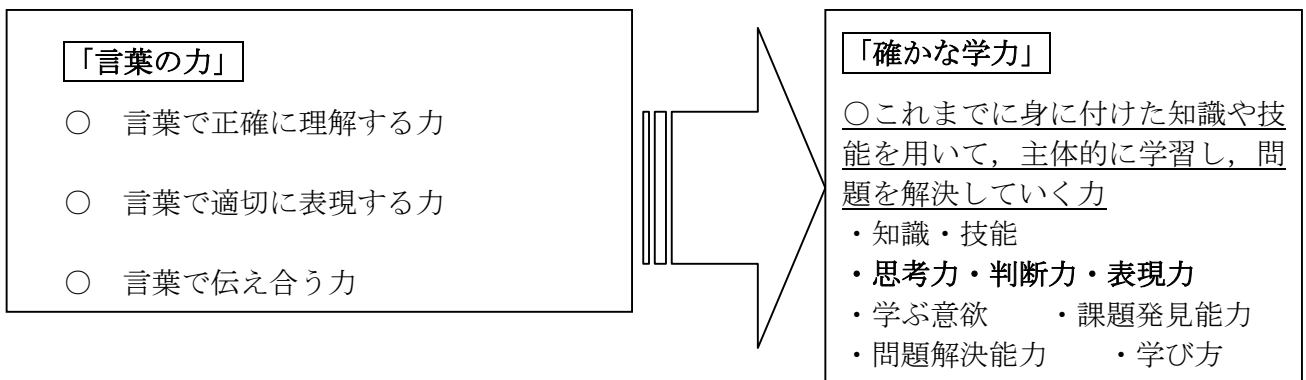


1 本年度の研究主題とその設定理由



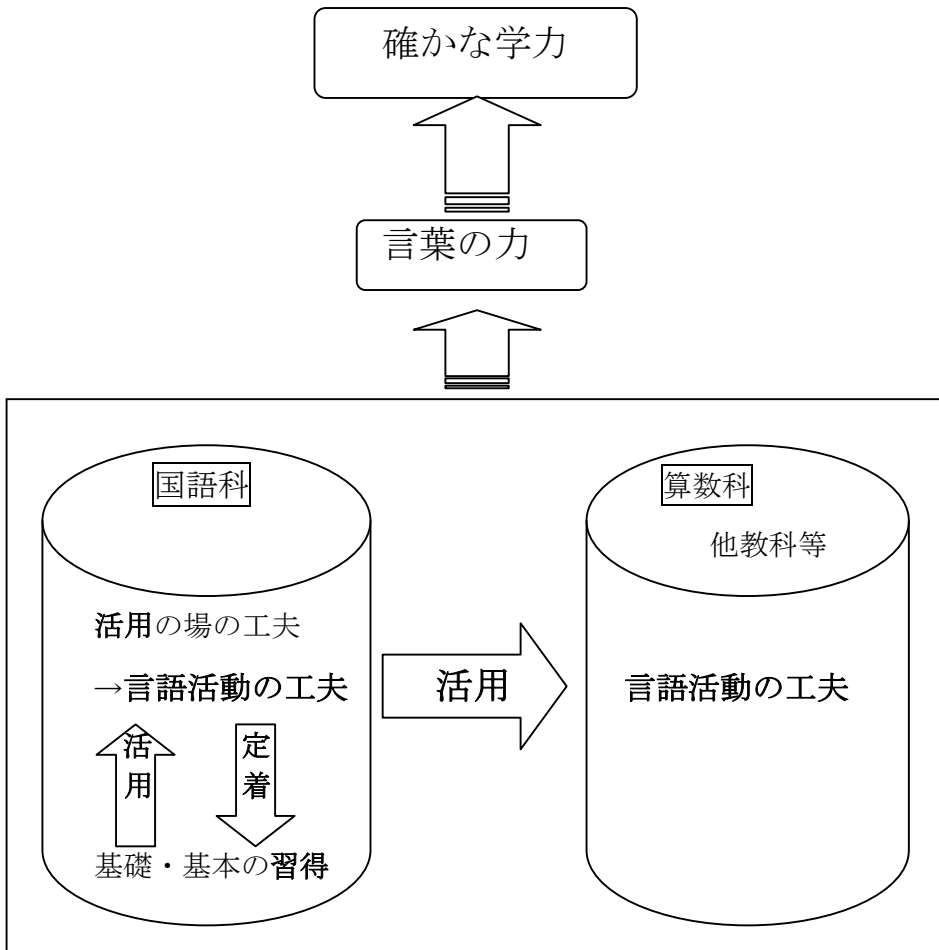
2 研究主題のとらえ方





2 研究の仮説

学習活動に必要な言語活動を工夫すれば、子どもたちに言葉の力が身に付き、  
確かな学力が定着するのではないだろうか。



☆ 言語活動で・・・

- 学習意欲を高める。
- 基礎・基本を定着させる。
- 基礎・基本を活用する場を設定する。

☆ そこで 研究の内容として考えられること

何を身に付けさせるために	どんな活動を	どのようにして
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 指導内容の明確化</li> <li>○ 言葉の力(言語技能)の明確化</li> <li>○ 学習用語</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各教科・領域の特性に応じた言語活動の工夫</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 効果的な指導方法</li> <li>○ 評価</li> </ul>

授業実践していくか

#### 4 目指す子どもの姿と研究の視点

自分が 理解したことを 伝えることができる子ども

理解できていないと伝えることはできない



① 基礎・基本の定着

② 伝えたいと思わせ、伝えることができるための手立ての工夫

#### 5 研究内容

##### ○ 「言葉の力」を育む授業づくり（今年度は、国語科・算数科）

- ・ 「言葉の力」を育むための学習指導過程 ……（理論研究班）
- ・ 授業のねらいを達成するための言語活動の工夫 ……（授業研究班）
- ・ 考えを交流させるための工夫 ……（理論研究班）

##### ○ 言語環境の整備・充実

- ・ 教室設営等の工夫
- ・ 読書活動の推進
- ・ 学校図書館との連携（活用）
- ・ 国語辞典の活用
- ・ 情報機器の活用

#### 6 共通実践事項

##### ○ 授業づくり

- ・ 国語科・算数科において、単元のねらいに応じて、どんな言語活動ができるか計画を立て共通理解して授業を行う。
- ・ 学習の意欲を高めるために導入を工夫し、相手や目的をはっきりさせた単元のゴールを設定する。
- ・ 学習過程の見直し→1 単位時間の中で言葉の力を育てることを意識した授業を行う。  
自分の考えをもつ→いろいろな表現方法で表す→友達のことを聞いて理解する→他の言葉で言い換えたり、まとめたりする
  - ☆ 音読の位置付け
  - ☆ 思考を揺さぶったり、焦点化したりする発問の吟味
  - ☆ 構造的な板書
  - ☆ ワークシートの作成・活用、ノート指導
  - ☆ 国語辞典の活用
  - ☆ 定着の時間の設定（練習・小テスト等）
- ・ ペア・グループ・一斉など、友だちと伝え合ったり、練り合ったりする学習形態を工夫し、互いに認め合いながら自分の考えを確かめたり、考えを高めたりする場を作る。
- ・ 授業の終末で、学習のまとめや感想（学習の成果や自分や友達のよさ）を自分の言葉で書かせ、発表させる。（自己評価）

##### ○ 言語環境の整備・充実

- ・ 継続して取り組む指導  
[日記・短文作りの指導、宿題の工夫、朝の会等でのスピーチ等]
- ・ 読書活動の推進
- ・ 家庭との連携

## 7 研究の評価の方法

### ○ 国語科・算数科における言語活動の実践の振り返り

各学年部でどんな言語活動がなされたか、どんな言葉の力が付いてきたかを振り返りまとめる。



その結果をもとに、授業研究班の国語部・算数部で実施状況を把握・分析し、成果と課題をまとめる。

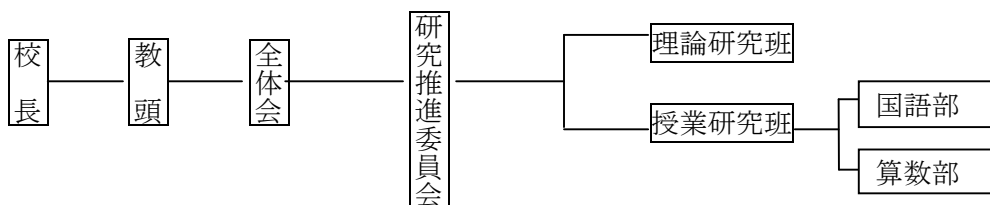
### ○ 学習に関するアンケートの実施と結果比較

9月と1月に実施。学習意欲や友達とかかわって学習できたか、アンケートをとり、比較・分析する。(理論研究班)

### ○ CRTの結果分析

昨年度との比較で向上が見られるか。

## 8 研究組織について



研究組織						
各部	理論研究班		授業研究班			
			国語部		算数部	
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>理論研究</li> <li>各部全体への連絡調整</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>実態把握</li> <li>研究授業</li> <li>授業研究・授業改善</li> <li>評価</li> </ul>			
1	鶴田	牧	○川田	安原	○本田	松澤
2	瀧		片平	覚堂	田中	岩本
3	○四角目	松永	下窪	有川	坂下	岩城
4	山崎		大山	蔵前	○下村	川崎
5	○岩脇	松田	○大谷	原田	後藤	梶原 古市
6	南	町田	田下	伊藤	前田	青山

9 研修計画

月	日	曜日	研究推進委員会	全体研修
5	24	月		研究仮説・内容・年間スケジュール等について 検討
6	3	木	5月の全体研修を受けて、 各班の研究の進め方等の検 討 (必要に応じて10日(木) にも推進委員会をもつ)	
6	21	月		5月24日の内容の共通理解 班会 →各班からの提案
6	28	月		各班からの提案を受け、各学年で課題を出し合 い、どの単元でどんな言語活動が取り入れられる か等の実践に向けた話し合い(学年会→全体会) 7月・12月の児童へのアンケートについて
夏 休 み				班会・学年会等 → 全体で共通理解し、2学期から取り組んで いけるようにする。 班会で研究授業の指導案検討
9	7	火	2学期のテーマ研修の進 め方について(夏休み中に話 し合ったことの確認)	
9	27	月		班会または学年会 指導案検討
10	28	木	研究授業に向けて 授業研究の視点の確認・ 係分担	
11	8	月		研究授業(国語6年・算数5年)  授業研究
11	18	木	29日の研修内容について の確認・準備	
11	29	月		各学年での取り組み・課題の発表 今後の授業実践に生かすための話し合い
1	20	木	31日の研修内容について の確認・準備	
1	31	月		本年度の反省と来年度の校内研修について

## 1 0 研究の実際

### (1) 理論研究班の取組

- 学習指導案の形式の提案
- 朝の会（帰りの会）でのスピーチの進め方について（共通実践事項）
- 発表話型について（共通実践事項）
- 「伝える名人になろう！！手がかりカード」の作成と活用について
- 実態調査について

### (2) 授業研究班の取組

#### 〈国語〉

- 学習指導要領から「話すこと・聞くこと」の目標，言語活動についての確認
- 指導案検討（6年国語：表現を味わい，豊かに想像しよう…教材文「やまなし」）

#### 〈算数〉

- 各学年の「練り合う」段階で「伝え合う」活動を組み入れることが可能な項目について
- 指導案検討（5年算数：分数）

## 1 1 今後の予定

1 1月 8日（月）	3校時 研究授業（5年算数） 5校時 研究授業（6年国語） 授業研究会（分科会形式で）
1 1月 29日（月）	授業研究分科会報告 今後の研修について（各学年部で実践内容について話し合い）
冬季休業中	各学年の実践報告のまとめと紙上発表
1月 31日（月）	今年度の研修のまとめと来年度の研修内容について話し合い